

シルバー五泉

第 52 号

平成 29 年 1 月 10 日

(公社)五泉市シルバー人材センター

五泉市太田1092-1

TEL (0250)43-5911

FAX (0250)43-5913

E-mail gosen@sjc.ne.jp

<http://www.sjc.ne.jp/gosen/>

(題字 五泉市長)



油絵「信濃川上流(十日町市)」

会員 塚野成二

謹んで年頭のごあいさつを
申し上げます。の皆さまのご健勝をお祈りいたします。

平成二十九年 元旦
(公社)五泉市シルバー人材センター

事務局	職員	一同	監事	木村健弥	吉田幸平	立石敏雄	岩城盛栄	倉地孝夫	落合一雄	加藤登	佐野昌保	伊藤紀雄	笠原久良	熊倉淳央	熊倉也勝	常務理事	理事	副理事長	理事長	塩原和夫	布施原夫
-----	----	----	----	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	----	------	-----	------	------





さらなる飛躍に向けて

五泉市長 伊藤 勝美

あけましておめでとうございます。

五泉市シルバー人材センターの会員の皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

また、常日頃から市政運営にご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げますところでもあります。

さて、本市におきましては合併後、間もなく第一次総合計画を定め、その実現に向け、この十年間で様々な事業に取り組んでまいりました。

その中でも、高齢者福祉につきましては、いつまでも自分の住み慣れた地域で、いきいきと生活ができ、充実した日々を過ごせるよう、また、皆さまの元気を本市の財産として活かしていくるよう、高齢者の社会参加の推進を施策の大きな柱とし、貴センターの支援事業などに力を注いでまいりました。

そして、皆さまからはこれまで市民

の多岐にわたるニーズに応え、市民生活の向上に大きく貢献いただくなど、本市のまちづくりにおきまして大きな役割を担っていただいているところでもあります。

このような中、四月から第二次総合計画がスタートし、まちづくりも新たな段階に入っていきます。皆さまからは、豊富な経験や卓越した技術のもと、引き続き市民の皆さまの様々なご要望にお応えいただくことはもちろん、仕事への生きがいを持ってさらにご活躍していただきたいとご期待するところでもあります。

結びに、五泉市シルバー人材センターの益々のご発展とこの一年が皆さまにとりまして輝かしい年となりますよう祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

新しい年を迎え

事務局長 熊倉 淳也

あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、よき新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、シルバー人材センターを取り巻く環境は、悪くなく、むしろ好機であるといわれております。定年延長の影響でここ数年減り続けてきた会員数も下げ止まりつつあり、契約金額も微増という状況であります。また、法改正も行われ派遣事業などに取り組みやすい環境が整ってまいりました。

今年度は、シルバー人材センター法制化三十年目の記念の年であり、また、五泉市シルバー人材センター合併十年目の節目の年であります。これを契機に、「自主・自立」「共働・共助」を理念とするシルバー人材センターの更なる発展をめざし、会員の拡大や就業開拓など積極的な事業運営に取り組んでまいりたいと考えております。

会員の皆様、健康で素晴らしい一年でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



新しい年を迎えて

理事長 塩原 和夫

新年あけましておめでとうござい
ます。会員の皆様におかれましては、お
健やかに新年を迎えられたことと心よ
りお慶び申し上げます。

常日頃はセンターの理念「自主・自立」
「共働・共助」に基づき、就業またはポ
ランテニア活動等により、地域、社会
貢献で会員の皆様のご支援、ご協力を
いただき厚く感謝申し上げます。

現下の社会情勢は、六〇歳以上の高
齢者人口は確実に増加し、当該年齢層
の就労意欲は旺盛といわれています。
生涯現役社会の実現に向けた高年齢者
の雇用、就業環境整備に国の施策が進
められています。シルバー人材センター
の取り扱う就労は、「臨時的かつ短期的
又は軽易なもの」の要件がありますが、
企業等からの需要も増えており、セン
ターを取り巻く環境は、総じて好転し
てきております。企業等からの需要に

応えるべく活動をしてはいますが、その
反面克服しなければならぬ課題もあ
ります。具体的に「会員の拡大」「後継
者の育成」「組織の活性化」等々です。
特に会員の増強については、センター
では「会員一人一入会運動」を推進し
ております。ぜひ会員の皆様のご協力
をお願い申し上げます。

これらの課題を解決し克服するため
に、常に様々な方面に心配りをして、
会員及び役職員の皆様、共に力を合わ
せ頑張つてまいりましょう。

本年の皆様のご健勝とご多幸を祈念申
し上げ、新年のご挨拶を申し上げます。



平成28年度 11月末 事業実績

【派遣】

区分	本年度	前年同期	前年対比
就業実人員	72人	19人	53人増
就業延日人員	1,860人日	929人日	931人増
受託件数	48件	14件	34件増
契約金額	11,847,939円	7,819,574円	151.5%

【請負・委任】

区分	本年度	前年同期	前年対比	
会員数	716人	722人	6人減	
就業実人員	550人	582人	32人減	
就業延日人員	49,145人日	48,534人日	611人増	
契約金額	公共	116,047,903円	109,767,267円	105.7%
	民間	70,705,685円	76,748,064円	92.1%
	一般家庭	40,421,314円	38,807,594円	104.2%
	計	227,174,902円	225,322,925円	100.8%



10月29日
(土)

平成二十八年 度 SC 事業普及促進強化月間
『シルバーの日』
〜クリーンアップ・ウォーク、体育施設の美化清掃〜

122名
参加



10月27日
(木)

庭木冬囲い
講習会

69名
参加

傷害・賠償事故発生状況 平成28年5月23日以降 平成28年10月31日現在

		年齢	性別	事故発生日時	事故の型	傷害部位	事故の概要
傷害事故		69	男	5月23日 14:30	虫刺され	左手甲	植木手入れ作業中、左手の甲を蜂に刺された。
		69	男	6月28日 14:00	虫刺され	顔・右腕	植木手入れ作業中、虫に刺され顔や腕が腫れた。
		69	男	7月11日 14:45	転落	胸部	植木手入れ作業中、三脚の開き止めを掛け忘れ、三脚の脚が開き転落。
		77	男	7月11日 11:00	転落	右後頭部	庭木手入れ作業中、三脚から降りるとき、足を踏み外し庭石の上に仰向けで転落。
		年齢	性別	事故発生日時	作業内容	傷害部位	事故の概要
賠償事故		81	男	8月31日 16:30	草取り	車助手席窓ガラス	草刈り作業中、石跳ねにより駐車車両の助手席窓ガラスを破損させた。
		69	男	9月16日 9:00	草取り	車助手席窓ガラス	草刈り作業中、石跳ねにより走行中の車両助手席窓ガラスを破損させた。



中川新 風間 金次

魅力ある庭木作りに

シルバーに入会して、ちょうど十年が経ちました。主として庭木関係の仕事をしてきました。会員同士良い点を話し合い取り入れ、色々と体験し、今は人並みに頑張っております。今後効率的な作業と美しい庭木作りに専念し、お客様に喜ばれる仕事をしたと思っております。毎日作業前にはミーティングを実施し、安全を心掛け作業したいと思います。



荻野島 加藤 弘子

日々、感謝

六回目の酉年を迎えました。大勢の方々の支えで生きてきた幸せを思うと、感謝でいっぱいです。若い気持ちでも体力は衰える一方。急速に変わる世の中についていけず、はがゆいばかり。これからは、あるがままに、笑顔を絶やさず、感謝して生きていきたいです。



能代 熊谷 芳昭

高齢社会に願いを込めて

介護費の公費負担を減らし、ツケを後世代に回さないため、酉年の私も健康維持に努め、シルバーの仕事で稼ごう。高齢者の働き場所の確保が国民総活躍社会であり、国家社会の発展に繋がる。集まれ、働こう高齢者！稼ごう生活の足しのために。



三本木 黒井 進

笑顔のおかげで!!

明けましておめでとございます。あつという間に六回目の酉年です。シルバーでの初めての仕事はマイクロバス運転でした。自分の孫のような子供達から笑顔とパワーをもらい、安全運転で業務を終えたことが何よりの嬉しい五年間でした。これからも皆様のお役に立ちたいと思っております。



下阿弥陀瀬 松尾イミ子

私の元気のもと



明けましておめでとございます。私はシルバーに入会して、いろんな仕事をしてきました。仕事の声がかかるとうれしく、私に元気を与えてくれます。そのせいか、年をとっても元気で毎日過ごしています。これもみんなシルバーのおかげです。友達に会うと「まだ頑張っているの?」と聞かれ、「そうだよ。」と答えると、「いいね。」と言われます。



石曾根 今井道夫

四年前にカテーテル治療で血流改善

私の冠動脈血管が血栓によって塞がれる「不安定性狭心症」に対し、カテーテル治療を行い、血流確保に万全を期してくださった病院の先生及び諸スタッフの皆様から感謝しています。『虚血性心疾患パンフレット』を資料として日常生活に取り入れ、現在八十三歳です。



宮野下 梅田 芳一

まずは健康で

シルバーに入会して、早いもので今年で四年目です。仕事も慣れましたが、緊張感を持って働いています。春になれば山遊びを兼ねて、ゼンマイ・ワラビ取りに行きます。かなり危険な場所もあり、一年毎に足の動きが悪くなっていくのを実感します。行く回数が少なくなりましたが、これからは健康に留意し頑張ります。



仲丁 森 福太郎

充実した日々のために

退職して一年半は自宅でのんびり過ごしていましたが、これでは健康と精神面に充実感がないと思い、当センターに入会し、今は宿直業務をしております。毎日ではなくとも、定期的に仕事ができ喜んでおります。老化予防にも役立つと自覚をしております。

配分金所得の税法上の取扱いについて

平成28年分の所得税の確定申告時期は「2月16日(木)～3月15日(水)」です。
 会員の配分金は「**家内労働者等の事業所得計算の特例**」により税法上「**雑所得**」として取扱われます。
 配分金については、**必要経費**として「**65万円**」まで控除され、収入が配分金のみで他の収入がない場合は、基礎控除「38万円」が加わり「103万円」までは課税されません。

◆ 計算式は次の通りです ◆

①所得が「配分金による所得のみ」の場合

$$\left(\text{配分金} - \left(\begin{array}{l} \text{必要経費} \\ 65\text{万円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{基礎控除} \\ 38\text{万円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{その他所得控除} \\ \text{扶養医療保険等} \end{array} \right) \right) \times \text{適用税率} = \text{所得税額}$$

②所得が「配分金と公的年金等による所得」の場合

$$\left(\left(\begin{array}{l} \text{配分金} \\ 65\text{万円} \end{array} - \begin{array}{l} \text{必要経費} \\ 65\text{万円} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{l} \text{公的年金等} \\ \text{年金等} \end{array} - \begin{array}{l} \text{公的年金等控除} \\ \text{等控除} \end{array} \right) - \left(\begin{array}{l} \text{基礎控除} \\ 38\text{万円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{その他所得控除} \\ \text{扶養医療保険等} \end{array} \right) \right) \times \text{適用税率} \\ = \text{所得税額}$$

※上記計算式中、配分金が65万円未満の場合の控除額は、配分金相当分の金額です。

※その他の所得控除とは、社会保険料（国民健康保険等）や各種保険料、医療費、扶養控除等です。

平成28年中に就業された会員の方に『**配分金支払証明書**』を2月中旬頃お渡ししますので、これにより申告してください。

おくやみ

心からご冥福をお祈りいたします。

佐藤 政弘 様 (蛭野)

平成28年9月

熊倉 勝弘 様 (山崎)

平成28年11月

佐々木雄三 様 (石曾根)

平成28年12月

地域班長の異動

(平成28年8月10日以降) 敬称略

地区	就任者	退任者
木越	落合義春	築井正司
矢津・夏針 番坂・矢津川 阿弥陀瀬	落合秀夫	渡辺 孝

配分金振込予定日

平成 29 年	
1月	25日(水)
2月	24日(金)
3月	24日(金)
4月	25日(火)
5月	25日(木)
6月	23日(金)
7月	25日(火)
8月	25日(金)
9月	25日(月)
10月	25日(水)
11月	24日(金)
12月	25日(月)
平成 30 年	
1月	25日(木)
2月	23日(金)
3月	23日(金)

編集後記

今年(平成28年)は四年、刻の声をあげて元気な一年でありますようお祈りいたします。

さて、少子高齢化が急速に進む日本、私達シルバーも今まで以上に健康で少しでも世の中に役立つことができればと思います。

昨年は、水害に地震そして多くの台風と災害が多い年でしたが、穏やかな年になりますようお願いいたします。

「四方よもの海はらからみな同朋ともと思う世に
 など波風の立ちさわぐらむ」

(明治天皇御製)
 世界の皆が戦争のない平和で、
 天災がない一年でありますように
 祈念いたします。

(広報委員一同)